



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：五十嵐 信 副会長 ◆ロータリーソング：四つのテスト
◆司会：武田 秀和 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

世界に希望を生み出そう



第2998回例会 令和5年11月27日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



先週22日、平吹設計事務所の創業85周年と平吹和之さんの三浦記念賞受賞をお祝いする会が開かれました。私が西ロータリークラブを代表して出席しました。出席者のほとんどが設計士仲間と取引先、それも取引先の担当者が中心で、だから私

からすればほとんど顔を知らない人ばかりの会でした。西ロータリーからは現社長の八鍬さんと、呼びかけ人の庄司時雄さんと、遠藤商事の遠藤会長がいらしていました。あとはほとんど若い人が多かったものだからわからなくて、ただ、そういう会もたまにはいいのかなとは思ったりしました。

平吹さんの平吹設計というのは、お父さんが始められたということで85年になります。100年に近いですよ。だから、うちのクラブでも結構そういう方がいるんじゃないかなと思って。慶弔規定の中に100年をお祝いするというのはないんですね。ですので、これはあってもいいんじゃないかなと思ひまして、来年以降の会長にぜひ検討していただければなと思ってます。遠藤さんのところが95周年ということでしたので、あと5年ですね。平吹さんのところが85周年ということであと15年。たぶんその間にもいっぱいいらっしゃると思うんですよ。だからぜひ、来年以降、今年中に理事会で慶弔規定を設けておきますので、来年以降、具体的にどういふふうにするか検討していただければなというふうに思いました。

というのは、100年企業というのはほんとにすごいことなんです。これ、ロータリー精神とまったく一致するなと思ってるのは、いい仕事をするということもそうなんですけれど、お客さまから支えられると。それがなかったら100年もたないです。1代ではできないし、2代、3代、3代目にして初めて100年を迎えられるようなことなので、それはほんとに一緒に皆さんでお祝いしていいんじゃないかなと。これこそ結婚のお祝いと同じように慶弔規定に入れたほうがいいんじゃないかなというふうに思いますので、これは理事会で検討していきたいと思っています。

幹事報告

三沢 大介 幹事

●今月11月11日、12日と地区大会が開催されました。そちらに西クラブからも多数の会員の方が参加していただきまして、ありがとうございます。たくさん表彰が届いておりますので、ご紹介させていただきたいと思ひます。

ガバナー賞として、目標7項目中3項目以上達成ということで表彰いただいております。また、米山奨学会の寄付総額第2位ということで、こちらも表彰をいただいております。

続きまして個人表彰です。第30回メジャードナー、遠藤栄次郎さん。前第11回メジャードナー、中山真一さん。第8回マルチプル、清野伸昭さん。第3回マルチプル、高橋勝治さん。第2回マルチプル、佐藤章夫さん。第36回米山功労クラブとして、山形西ロータリークラブにも感謝状が届いております。おめでとうございます。

●先日、小国ロータリークラブの50周年周年事業がありまして、会長と私で参加させていただきました。その御礼状が届いておりますのでご紹介させていただきます。

●米山奨学生のジョン・チャンビンさんが来ておりますので、会長のほうから奨学金をお渡しをお願いします。

○チャンピン奨学生からひとこと

皆さん、こんにちは。今月の近況報告をさせていただきます。今月は地区大会がありまして、2日間参加していた方々、本当にお疲れさまでした。私個人的にちょっと印象に残っていることをご紹介したいと思います。

まず1点目は、モンゴルから来たジャン・ジブさんのお話がすごくとても印象深く、ジャン・ジブさんは何十年も前に僕みたいな米山奨学生として奨学金をもらっていた方で、何十年か経った今でも活発な交流をおこなっていて、それがとても、私もああいうふうになりたいなというふうに思いました。

2点目は、2日目の行事が終わったあとの2次会だったんですけど、とても素晴らしいお店で、とても美しい日本の文化を経験することができて、やっぱりロータリーのイベントに参加して良かったなというふうに思いました。またそういうイベントとかがあったら、積極的にこれからも参加したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

ニコニコ BOX

〈11月27日〉

長澤裕二会長／上林直樹パストガバナーをお迎えして
今月はロータリー財団月間です。2800地区ロータリー財団委員会委員長のパストガバナー、上林直樹さんに卓話をお願いしています。ようこそおいでくださいました。

武田元裕さん／上林パストガバナーようこそ
よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

佐藤啓さん／チャンス到来
今月はロータリー財団月間です。円相場も円高基調に推移しています。巷ではブラックフライデーで盛り上がり、お金を使うなら今がチャンスです。消費、投資、そしてロータリー財団へのご寄付を忘れずに、何卒よろしくお願いたします。

佐藤章夫さん／山形五堰、世界かんがい施設遺産登録
山形五堰が、かんがい遺跡として世界遺産に登録されました。長年関与してきましたので大変嬉しく、ニコニコします。

三沢大介さん／地区大会ご参加いただきありがとうございました
11月11日、12日開催されました地区大会では、山形西ロータリークラブより多数の会員の皆さんに参加いただき、ありがとうございました。

市村清勝さん／山形中央ライオンズクラブ杯優勝
孫の所属しているミニバスケットボールチーム桜田が、昨日の試合で優勝しました。じじはとても喜びました。

富田浩志さん／感謝
昨日、早朝6時より新宿の歌舞伎町の掃除の会に参加してきました。国会議員、新宿の区長、都議会議員、台湾の方々など、450名で実践されました。未来に向けて認定NPO法人である掃除に学ぶ会30周年記念の行事でした。



遠藤栄次郎さん



中山真一さん



清野伸昭さん



高橋勝治さん



佐藤章夫さん

ゲスト卓話



ロータリー財団について

上林 直樹 さん

[国際ロータリー第2800地区
ロータリー財団委員長 パストガバナー]

どうも、こんにちは。実は昨日一昨日と、学友で南相馬のほうに行ってまいりました。学友の総会がありました。皆さんご存じのように、奨学金をいただいて、イギリスですとかいろんな国に1年間行くわけですね、日本人が。その戻ってきた子どもたちもちろん大人なので、その総会が南相馬でありました。

昨日、日曜日なんですけれども、午後2時くらいまでずっと津波で流された学校に行きまして、でも小学生はみんな山に逃げたので助かったんですけれども、実際に振り向いてみると十何メートルの高さの津波が来て、その東日本大震災・原子力災害伝承館にも行きまして、やっぱりかなり、正直な話、ショックです。やっぱりかなり落ち込みますよね。あの部分の、もう何年か前の、もう2011年ですから、あの部分のあれしますと。我々も商売柄すぐ現地に行ったんですけれども、やっぱりその時の様子をちょっと走馬灯のごとく思い出してしまって、かなり落ち込んで昨日は帰ってきました。そんな感じでまた今日もこういう形で財団のお話をしろということなので、今日が山形西さんで明日は寒河江さくらんぼロータリーかな、明後日が天童東で、金曜日が天童ロータリーということで、財団のお話をしろということなので、そんな感じでいろいろお話をさせてください。

正直な話をすると、財団の話というのはあまりおもしろくもない。なんのことはない、要は金を出せという話ですから、その辺の理解度等々と思うので、あんまり話はしませんけれども、先々週、11月18日、19日と、神戸で財団地域セミナーがありまして、朝10時から夕方4時までぎっしり、徹底的に「財団とは」みたいな話をして、その時に話をされたのが、ほとんどポリオの話でした。要するにポリオの重大さみたいなものがあつた。ポリオというのは、僕もガバナーをやった、経験した時の話なんですけれども、僕の時は、今『ロータリーの友』に書いてありますバリー・ラシンさんがRIの会長だったので、当時、パストガバナーもいらっしゃいますけれども、我々は39地区、午前中会議をやって午後から全体会議ということで、ものすごいんですね、約1,000名が世界から来ていますので、そこで全体会議をやったりします。それでその会場に、例えばここに入口がありますけれども、そこに1メートルちょっとくらいのガラスケースがあつて、ドーム型のケースがあつて、長さが1.5メートルくらいあるんですね。通るたびに何かなと思つて、最後に聞いたんですよ。それは何かと言うと、

実はポリオにかかった子どもさんをその容器の中に入れておくと。それで手足を縛らないと、子どもなので暴れるので、そういう部分のあれなんですよということで説明を受けました。正直な話、ものすごいショックでした。ただ、僕もそれなりの年になっていますけれども、我々の時も小学校の時に確か1人か2人ぐらい小児麻痺にかかっている子がいましたよね、昔は。ですから昔を思い出して、ああそうか、と。今は絶対数がもちろんいませんけれども、ポリオにかかっている子は、ですからそのワクチンを云々ということでその辺の話からさせていただきたいと思います。

寄付の利用はあとで話をしますけれども、ロータリーの財団とはということで、その辺の話からさせていただくと、「基本的にはロータリークラブを動かす血液である」と言う方がいらっしゃいます。財団というのはあくまでもロータリーを動かすための血液なんだよという話をしています。さっき言ったように、世界のロータリークラブの最大の奉仕活動はポリオ撲滅の活動です、実際問題。皆さんご存じのように、ポリオというのは脊髄に感染して治療法がないと。ワクチンで予防するしかないということなので、ここ40年近く、世界のロータリークラブはポリオ根絶に対して2022年から2026年まで、根絶計画を立てて今現在進行中です。

それで、現実的には1988年から2022年まで約30億人の子もたちに予防接種をやって、約2千万人の子もたちがポリオにかからないで済んだというデータがあると思います。ポリオのない世界ということで、我々はそれを目指しているわけですが、約1年間で3億7千万人にワクチンを接種しなくてはいけない。それが必要だということで、それに従事する数十万人の医療従事者、保健従事者と言うんですかね、その人たちが予防接種とそれから監視活動をするわけですね。ですからその辺で絶対そのお金が必要なんです。「なんでこんなにお金がかかるの」みたいな話をしますけれども、金額的にはものすごい金額のほとんどがポリオに行っている部分ですので、その辺、頭にちょっと入れておいてください。お願いします。

それで、補助金の話はさっき財団の委員長が言いましたけれども、補助金の資金源となるのが年次基金1億5千万ドル、その中でポリオ根絶には5千万ドル、それにビル&メリンダ・ゲイツ財団からの1億ドルの寄付が上乗せになっている。また、直接寄付、グローバル補助金等への現金支出、災害対応基金など、いろいろ6千万ドルかかるんですかね、お金が。だからものすごい膨大なお金でございます。これを円換算すると大変なお金になりますよね。

でも皆さん、ちょっと頭に入れておいてください。これはこの前バリー・ラシンが言っていましたけれども、『ロータリーの友』7月号に書いてあります。何を書いているかということ、実は「ロータリーの会員の80%以

上がポリオに対して寄付をしていない」ということなんです。それで、60%以上がロータリー財団にまったく寄付をしていないという現実です。ですからその辺を頭の中に入れてもらえば、できるだけ、僕はお金を集めるために財団委員長になったわけではないんですけども、そんな感じです。ですから簡単な話、例えば今、年間でロータリアンが140万人世界にいらっしゃいます。そのうちの100万人近くが寄付をしていないというデータですから、その方々が25ドル、100万人が25ドル、日本円でいくと3,500円を寄付するだけで、要するに大口寄付をお願いをしたり、いろんな方々にお願いする必要がなくなるわけです。その辺の現実をちょっと頭に入れておいてください。確かに1万ドル以上寄付する方ももちろんいらっしゃいます。別に寄付するなどと言いませんけれども、そういう意味でいろんな寄付の方法がありますので、これもちょっと頭に入れておいてください。結果的にそのポリオプラスの部分で、ポリオのためにお金をかなり使っておりますので、それもちょっと云々をしたいと思います。

それからこのブルーの紙を見ていただきたいのですが、この紙ですね、この上のほうに、「2800地区、5」と書いてあります。要するに、絶対数で考えるとこれしかないということなんです。2800地区、うちの山形地区。その下にいろいろ、さっき財団委員長がおっしゃっていた年次基金1人当たり150ドル、年次基金寄付ゼロクラブ、ゼロ達成を継続すると。エブリロータリーエブリエヤーズの推進、ポール・ハリス・ソサエティの推進等々です。それからその下に書いてありますポリオプラスのために1人当たり30ドルをお願いをしたい。恒久基金というのは冠名の寄付、各地区1件以上が必要です。あとは大口寄付、さっき言ったように、寄付の種類に関わらず1万ドル以上の寄付を日本で100件目指そうということです。1万ドルというのは、今1ドル150円にすると金額的には150万円です。ですからその辺もちょっと頭に入れておいてください。そしてAKSを日本全体で10名増やす。これは大口の寄付の方々を10名増やすということです。さっき言ったように、大口寄付の中で日本で100件ということは、1億5千万円のお金をなんとか工面したいということがあります。それからDDFの活用と書いてあります。各地区期末DDF残高ゼロを目指す。DDFの20%をポリオプラスへ寄贈。また、ロータリー平和センターへの寄贈。7つの重点分野への寄贈。1番下のほうに奉仕活動の推進ということで、世界ポリオデーに地区やクラブでイベントを企画、実施。それにグローバル補助金、地区補助金の活用の促進。ロータリー平和フェロシップの推進等々があります。

この平和フェローというのはどういうものなのかということもちょっと頭に入れておいてください。ちょっと説明をします。平和フェローというのは、ロータリー平

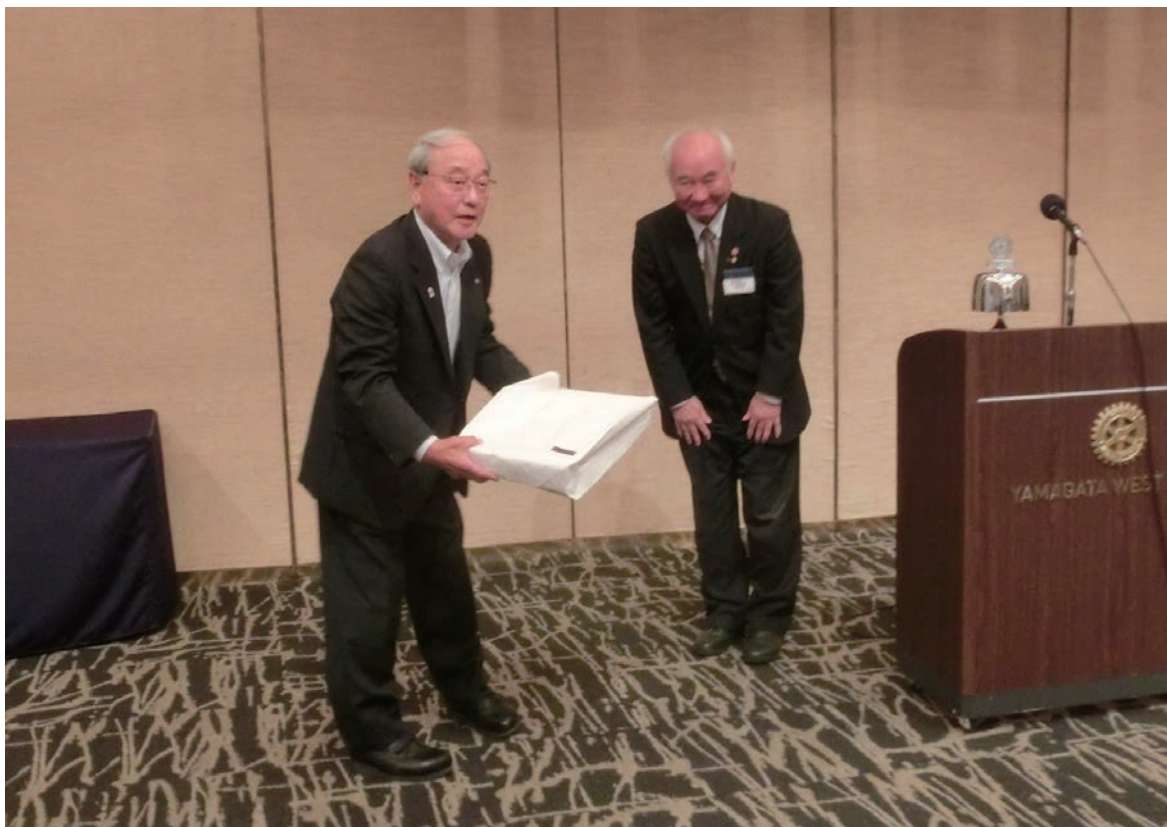
和フェローシッププログラムというものです。このプログラムは平和と紛争解決の分野で国際的に活躍できる人材を育成することを目的とします。国際ロータリー（RI）が提供する奨学金プログラムです。この目的を達成するため、ロータリーは世界6カ国の名門大学と提携して7つのロータリー、平和センターが設置されています。2002年、平成14年から奨学金の受け入れとプログラムの運営をおこなっております。我が国では国際基督教大学、東京都三鷹市にありますけれども、ロータリー平和センターが設置され、平和と紛争解決の分野の修士、博士号取得を目指す人のために奨学金プログラムを実施されています。今現在も、たしか十何名がこのフェローシップに携わっている方がいらっしゃいますけれども、そんな感じで今一生懸命やっております。

では僕自身はどうなの？という話をしますけれども、うちのほうの活動経過を見ると一発でわかるんですけども、僕はロータリー日本財団のほうにマルチプル・ポール・ハリス・フェローで、プラス6です。ということは、金額にすると大体100万円くらいです。うちのメンバーももちろん41名全員年次基金をやっています。それから、ちょっと話が違うのですが、米山のほうにも、ロータリー米山記念奨学会のほうにも僕は2回寄贈していますので、トータル的には20万円くらいかな。うちのクラブは米山のほうにも全員寄付をしていま

すので、そんな感じで現在やっております。さっき僕が言ったように、どうしてもお金が絡むものですから、なかなか云々なので、各会社のほうも、例えば利益が出ればそこから云々で税金的にも対応できますので、そういう部分でなんとかお願いしたい。

こんな感じで、僕はとりあえず財団の委員長ということをやっていますが、要は皆さんからお金をせしめる役目なので、その辺をしっかりと頭に入れておいてください。よろしくお願いをしたいと思います。

それからこれがありますよね。「守銭奴」という言葉がありますよね。これは何かと辞書を引きますと、「少しのお金も失うまいとするケチな金持ち」と書いてあります。僕は守銭奴にならないようにお金を一生懸命集めて、皆さまのために奉仕活動をこれからもやりたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。以上で終わります。ありがとうございました。



本日出席 (11 / 27)	会員総数	出席会員数
	103名	52名